

## 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年8月8日
作成 高齢者支援センター	町田2
作成者	小林

1.開催日時	2022年 7月25日	月	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3
4.参加人数	25				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	9人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人	
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	10人	(うち、医師	1人)	<input type="checkbox"/> 介護事業者
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政
	<input type="checkbox"/> その他	( )			
6.開催テーマ	今取り組むべきフレイル予防について考える				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する外出自粛とその長期化、また、感染症への心配・不安による地域活動の縮小等により、フレイル進行が懸念される。社会活動が回復しつつある今、フレイル予防の啓発を強化する必要がある</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>2020年2月～新型コロナウイルス感染症流行に伴い、引きこもりがちな生活・社会活動の縮小・地域交流の場の消失し、高齢者のフレイル進行が懸念される状況が続いている。コロナ感染以前からあった課題だが、感染流行を経て、よりその重要性が高まっている。感染対策を行いつつ、高齢者自らがフレイル予防に取り組める地域作りが必要である。</p>				
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防の対象者抽出や啓発で活用できそうな既存ツール「イレブンチェック」「基本チェック表」「わかっかテスト」といったアプローチ法を共有。また、国立長寿健康医療センターで作成した「フロー図」、西東京市の「フレイルチェック結果を踏まえたハイリスク者へのアプローチモデル」について資料に基づき共有を行う。</li> <li>・今年度のテーマを「身近な人にフレイルを伝えていこう」とし、「地域ネットワーク」としてフレイルが気になる高齢者を発見し、主体的に行動に移せるよう働きかける事の出来るシステムづくりを目標と定めた。</li> <li>・具体的に、町田圏域で何に取り組むか、職務において関わる地域住民にフレイルチェックをしたり具体的な取り組みを行っているか、等について意見交換を行う。</li> <li>・専門職がフレイル予防に関する正しい知識を習得できるような取り組みについて具体的に協議した。</li> </ul>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>今年度のテーマを「身近な人にフレイルを伝えていこう」とし、「地域ネットワーク」としてフレイルが気になる高齢者を発見し、主体的に行動に移せるよう働きかける事の出来るシステムづくりを目標とする。</p> <p>①町田圏域版のフレイルチェックフロー図の原案作成を進める。 具体的には今回の会議で提案を受けた「フレイル予防活動のパッケージ(分類分け)」やフレイル予防活動として必要なタイミング(時期分け)などについて協議を行う。</p> <p>②町田圏域地域ケア推進会議(拡大会議)の開催を予定。フレイルについての学習と多職種による協議の場として開催する。開催時期は町田圏域高齢者支援センター及び医療と介護の連携支援センターで協議し、次回企画会議にて協議を行う。</p>				